

第二次 美浜町環境基本計画

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を含む

[改定版]

概要版

計画期間：令和5～9年度



令和5年3月
美浜町

美浜町における地域循環共生圏のイメージ

地域循環共生圏とは

「地域循環共生圏」とは、人口減少や山林・農地の荒廃など地域が抱える様々な問題を解決するため、地域資源の活用や他地域との協働を通じて、自立分散型の社会を築き、自然環境、社会、経済の問題の同時解決を図る考え方のことです。

本町においては、このイメージ図のように、現在取り組んでいるものを磨き上げ、近隣自治体や都市、観光客などと連携して、本町の特性・地域資源を活かした持続可能なまちづくりを進めていくことを想定しています。



【美浜町における地域循環共生圏のイメージ図】

環境像実現に向けた5つの基本目標

本町が目指す環境像を実現するため、計画の柱となる5つの基本目標を設定し、町民、事業者、行政連携のもと、具体的な取組を進めます。

基本目標1 未来のみはまを守り発展させる 脱炭素のまちづくり

脱炭素社会の実現に向けて、新たな暮らし方の普及やまちづくりを進めます。また、地球温暖化の進行により高まると予測されている異常気象へのリスク対策（適応策）も進めます。



- 1 みはまを発展させる新たな環境まちづくり
- 2 温室効果ガスを減らす取組
- 3 地球温暖化が引き起こす災害などに備える取組

基本目標2 限りある資源を大切に活用する みはまの循環型まちづくり

循環型社会の実現に向けて、3Rの取組を徹底します。また、漂着ごみの原因となるごみのポイ捨てを減らしたり、効率よく回収・資源化するための取組を進めます。



- 1 3R(ごみを減らし、再使用し、リサイクルする)の取組
- 2 ごみを効率よく処理するための取組
- 3 漂着ごみに対する取組

基本目標3 みはまの自然を守り育む 共生のまちづくり

自然と共生したまちづくりに向けて、山、川、湖など多様な自然環境の保全・活用を進めます。また、貴重な生きものの保全や鳥獣害対策により、生物多様性の保全につなげます。



- 1 山・農地を守り育む取組
- 2 川・湖・海を守り育む取組
- 3 色んな生きものを守り育む取組

基本目標4 暮らしの安心安全を守る みはまの生活環境づくり

暮らしの安心・安全を守るため、大気や水、土壌など生活環境を守るための取組を継続します。また、美しいまちなみの保全に向けて、環境美化や不法投棄対策を進めます。



- 1 生活環境(大気・水・土壌など)を守る取組
- 2 環境美化を進める取組

基本目標5 みんなが進んで学び行動する みはまの人づくり

基本目標1～4を進めるため、環境保全活動を担う人材の育成や各主体の連携強化、また、活動への支援を進めます。



- 1 子どもや大人の環境を学ぶ機会を増やす取組
- 2 環境を守る活動への支援を進める取組

具体的な取組例

普段の生活①

- 冷暖房の適切な温度管理や見ていないテレビを消すなど節電に協力しましょう。
- 家電を購入・買い替えるときは、省エネ型や高効率型を検討しましょう。
- 家を購入・建て替えるときは、ZEH（ゼッチ）を検討しましょう。
- ハザードマップを確認するなど災害に備えましょう。

普段の生活②

- ごみの分別を徹底しましょう。
- 生ごみの堆肥化・活用を検討しましょう。
- 不要になった日用品や衣類は、リサイクルショップなどに持っていきましょう。
- 古紙類や雑がみ、廃食用油などの資源回収に協力しましょう。



普段の生活③

- 自身が保有する山や農地は、間伐や植林、耕作などにより適切に管理を行いましょう。
- 農薬や肥料を使用する時は、使用上の注意をよく読んで、適量を使いましょう。
- 大きな音を出さないなど近隣住民に配慮しましょう。
- ごみのポイ捨ては行わず持ち帰りを徹底しましょう。

買い物・料理

- 買い物の際、マイバッグを持参しましょう。
- 食材を買いすぎない、料理を作りすぎないなどの工夫をしましょう。
- 「賞味期限」と「消費期限」を正しく理解し食材を使い切しましょう。
- 生ごみは水気をきってから捨てましょう。
- 余っている食材は近所へのお裾分けやフードバンクへの寄付を検討しましょう。



チャレンジ みはま

移動

- 徒歩や自転車、公共交通機関を積極的に利用しましょう。
- 自動車を購入する際、燃費の良いものや次世代自動車の選択を検討しましょう。
- エコドライブを徹底しましょう。



意識啓発

- 地域が行う環境保全活動や美化活動に積極的に参加・協力しましょう。
- 「みはまナビフェス」などのイベントを通じて、美浜町の環境を学びましょう。
- 環境に関する情報を積極的に収集・発信しましょう。



事業活動①

- 廃棄物の適正な分別・処理を徹底しましょう。
- おいしいふくい食べきり運動に協力しましょう。
- 自然や歴史文化にふれるイベントを企画するとともに積極的に参加・協力しましょう。
- 大気汚染や水質汚濁、騒音・振動に関する法令などを順守するとともに、近隣への配慮に努めましょう。

事業活動②

- クールチョイスなどの取組に協力しましょう。
- 設備を購入・買い替えるときは、省エネ型や高効率型を選択しましょう。
- 建物を購入・建て替えるときは、ZEB（ゼブ）を検討しましょう。
- 太陽光発電設備や蓄電池の導入に努めましょう。
- 再エネや省エネの普及を新たなビジネスに活かしましょう。

脱炭素社会の実現に向けて

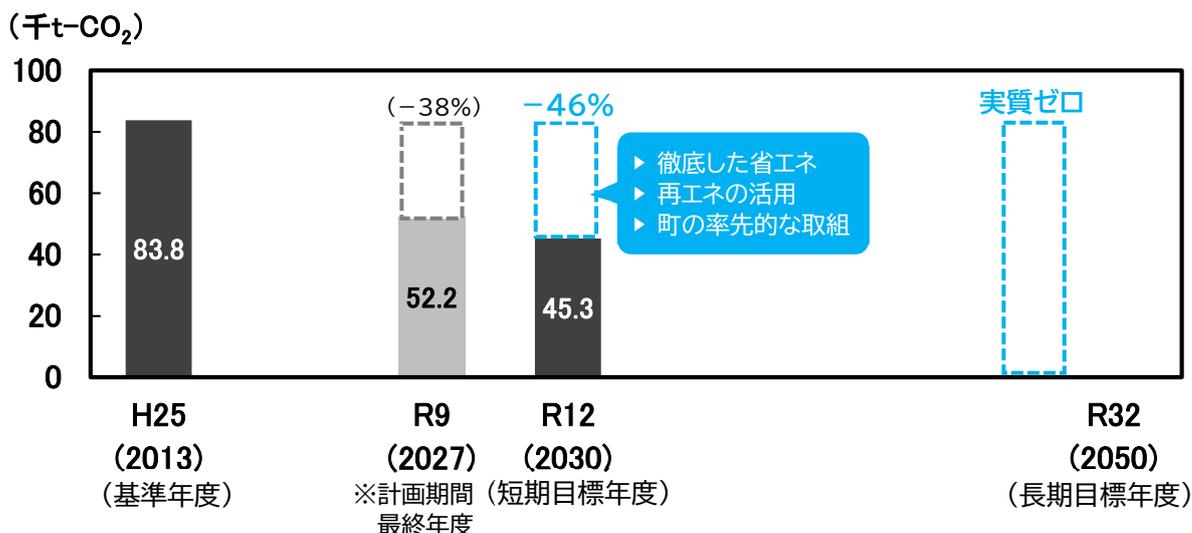
温室効果ガス削減目標

脱炭素社会の実現に向けて、令和12(2030)年度の本町の温室効果ガス排出量を、基準年度である平成25(2013)年度比で46%以上削減することを目指します。

また、長期的な目標として、国の「2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指す」宣言と整合を図り、本町においても2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指します。

令和12(2030)年度の本町の温室効果ガス排出量を、
基準年度 平成25(2013)年度比で**46%**以上削減することを目指します。

※計画期間(令和9[2027]年度)としては、基準年度比38%以上削減することを目指す



🌱 どうして温室効果ガスを減らす必要があるの？

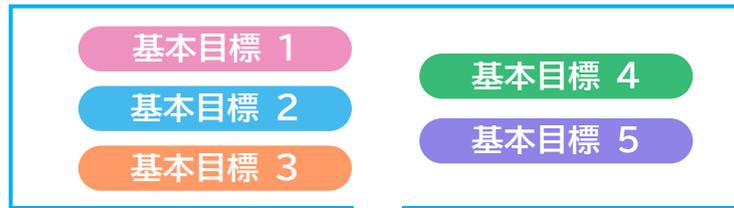
今、世界各地で温室効果ガスが増加し、気温の上昇、異常気象の頻発・激甚化など気候変動の影響が現れています。

美浜町の温室効果ガス排出量は減少傾向にありますが、今後、気温の上昇や異常気象の頻発・激甚化、私たちの食べ物や健康にも様々な影響が与えられる可能性が予測されており、その影響は何も対策をしないと更にひどくなる可能性があります。

こうした気候変動の影響に対し、私たち一人ひとりが、温室効果ガスの排出を抑制する対策「**緩和策**」と、被害をなるべく少なくする対策「**適応策**」をバランスよく進めていくことが重要です。

重点施策

重点施策は、基本目標の内容を踏まえ、①特に取り組む必要性が高く、②施策全体を牽引する効果が期待され、③環境像やSDGsの実現に貢献するものを位置づけます。本計画では、3つの取組を重点施策として位置づけ、重点的・優先的に進めます。



- 重点施策1 脱炭素 みはまスマートコミュニティプロジェクト
- 重点施策2 みはま 美しい浜・海・湖のクリーンプロジェクト
- 重点施策3 ごみ削減 みはまスマートチャレンジプロジェクト

【重点施策の位置づけ】

重点施策1 脱炭素 みはまスマートコミュニティプロジェクト

取組概要

2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする国や県の目標の実現に向けて、町域のエネルギー削減に貢献するまちづくりや脱炭素型ライフスタイルの普及を進めます。

脱炭素社会の実現

エネルギービジョンと連携して、脱炭素型スマートコミュニティを形成



CO₂ 排出量の多い運輸部門への対策を推進



脱炭素社会に貢献する暮らし方の普及



施策の柱

- 1 スマートコミュニティの形成・活用に向けた取組の推進
- 2 運輸部門のCO₂ 排出量削減に向けた取組の推進
- 2 脱炭素社会に貢献するライフスタイルの普及啓発

取組例

- ◆「美浜町エネルギービジョン」と連携した脱炭素型スマートコミュニティの形成
- ◆国の「GX 実現に向けた基本方針」に基づく環境負荷の少ないエネルギーの利活用の推進
- ◆徒歩や自転車、公共交通機関など自動車に頼らない移動手段の利用促進やCO₂ 排出量の少ない次世代自動車の普及促進
- ◆COOL CHOICE、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動の普及促進

など

重点施策2

みはま 美しい浜・海・湖のクリーンプロジェクト

取組概要

海洋ごみやポイ捨てごみの原因となる使い捨てプラスチックごみへの対策を進めるとともに、観光客・地域住民のマナー向上に向けた取組を強化します。
また、町が誇る美しい浜や海、湖の景観や生態系の保全を進めます。

自然環境の保全、漂着ごみの処理
コスト・労力の改善

海洋ごみの原因となるプラスチックごみ・ポイ捨てごみ削減対策の強化



海洋ごみ処理等の取組強化、景観・生態系の保全



浜・海・湖の利用客への意識啓発



施策の柱

- 1 プラスチックごみ削減に向けた取組の推進
- 2 海洋ごみ処理等の取組の推進
- 3 浜・海・湖の景観および生態系の保全
- 4 浜・海・湖の利用客への意識啓発

取組例

- ◆ 使い捨てプラスチックの利用を減らすための取組支援
- ◆ 「美しい浜プロジェクト」における海・浜の保全推進
- ◆ 企業と連携して海岸漂着物の廃プラスチック等の利活用推進
- ◆ 多様な生きものの生息・生育場所の保全と環境学習の場として活用
- ◆ 海洋ごみやポイ捨てごみに関する情報の発信、マナー向上に向けた取組の強化 など

重点施策3

ごみ削減 みはまスマートチャレンジプロジェクト

取組概要

ごみ処理コスト削減に向けて、食品ロスや生ごみをはじめとするごみ排出量の削減や循環型社会に貢献する暮らし方の普及を進めます。

循環型社会の実現、ごみ処理コストの改善

家庭ごみの中で一定の割合を占める食品ロスへの対策強化



生ごみの資源化・活用対策の強化



幅広い世代を対象とした意識啓発



施策の柱

- 1 食品ロス削減に向けた取組の推進
- 2 生ごみの減量化、資源・活用に向けた取組の推進
- 3 ごみの少ない(ない)暮らし方の普及に関する情報発信

取組例

- ◆ 食べきり運動や買った食材を使い切る調理方法の普及啓発
- ◆ 賞味期限の近い防災備蓄食品の有効活用
- ◆ 生ごみ処理機等の購入補助
- ◆ ごみ排出の少ないライフスタイルの普及に向けたチラシなどの作成
- ◆ 食品ロスの原因となる食べ残しや過剰除去などを減らす取組に関する情報の発信 など



美 浜 町

**第二次美浜町環境基本計画 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を含む 改定版
概要版**

編集：発行／美浜町 住民環境課

発行年月／令和5年3月

〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市 25-25

電話 : 0770-32-6703(直通) FAX: 0770-32-5885

計画の内容について、もっと詳しく知りたい方へ

美浜町ホームページ

<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/>